

文書番号: ESC-APN-053-0411

Re:Zolver アプリケーション リリースノート

(RRT000:
Rev.4.11, 2021/05/14)

株式会社 DTS インサイト

Rev.4.xx

Rev.	変更内容
Rev.4.11 (2021/05/14)	<p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> Re:Zolver アプリケーション Ver.4.10 以降では、ノードロック/パーマネントライセンス製品 (RRA002/N, RRT000/N)の製品構成を変更いたしました。 従来の共通アプリケーション(RRA002)のインストーラではなく、アーキテクチャごとにインストーラが個別(RRT000)になっていますのでご注意ください。 ライセンスファイルは従来どおりご使用いただけますので、Ver.4.xx に対応したライセンスファイルをお持ちのお客様は、新しくライセンスファイルを取得する必要はありません。 Re:Zolver アプリケーション Ver.4.00 以降を使用するためには、ノードロックライセンスの場合、Ver.4 に対応した RRA002/N または RRT000/N ライセンスが必要です。保守契約中のお客様は、Re:Zolver サポート Web サイトにログイン後、「ライセンスの再発行」をしていただくことにより、Ver.4 に対応したライセンスを入手できます。2020年8月21日以降に、新規に製品登録とライセンスを取得されたお客様には、自動的に Ver.4 に対応したライセンスが発行されております。 フローティングのタームライセンス RRT000/FL をご使用のお客様はライセンスを再発行していただく必要はありません。お使いのライセンスのまま、最新版 Ver.4.xx のソフトウェアをインストールしてご使用いただけます。 Re:Zolver アプリケーション Ver.4.10 以降では、従来のアーキテクチャ対応製品と TriCore AURIX 対応製品(RRA002, RRT000)、C#対応製品(RRW000)のリリースノートがあります。本書は、TriCore AURIX 対応製品のリリースノートです。 <p>【機能追加および仕様変更】</p> <p>[全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> ノードロック、パーマネントライセンスの製品(/N)は、従来の共通アプリケーション(RRA002)に対応アーキテクチャライセンス(RRT000)を適用する製品構成から、アーキテクチャ対応ごとにインストーラが異なる製品構成に変更しました。 ノードロックのタームライセンス(/NL)に対応しました。詳細は、マニュアルの[ライセンスを適用する [ライセンスアクティベーション]]をご覧ください。 <p>[差分プログラム表示 ビュー]</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラム差分表示の際に、引数の数や型が異なる同名の関数が複数ある場合、それらを差分プログラム表示の候補として表示するようにしました。 <p>[オプション設定 ダイアログ]</p> <ul style="list-style-type: none"> カテゴリ「差分モード」に項目「関数サイズの比較をする」と「同名の関数や変数は定義ソースが変わっても同じものとみなす」を追加しました。 <p>【不適合修正】</p> <p>[全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> 絞り込み状態で保存したプロジェクトを復帰した後に絞り込み状態を変更すると、リストの関数/変数が未検出になる問題を修正しました。 [影響グラフ ビュー]における以下の問題を修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> 複数のノードを一つの View にまとめて影響グラフ表示すると、同じオブジェクトを差分分析した場合でも、影響消滅/影響出現がでる場合がある。

	<ul style="list-style-type: none"> - 構造体ポインタ型のメンバのアイコンが構造体型メンバのアイコンで表示される。 - 差分モード時の帳票出力において、呼び元パス/呼び先パスに分析ファイル 1 側のスタック消費量が出力される。 - クラスリストからスタティックメンバ変数を選択して影響グラフが表示できないことがある。 • [UML クラス図 ビュー]において、メンバ変数を選択してクラスリストにジャンプできない問題を修正しました。 • [コマンド]実行時における以下の問題を修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> - コマンドで-g オプションを付けて Re:Zolver を起動すると、関数リスト/変数リストに未検出の関数/変数のみが表示される問題を修正しました。 - コマンドでプロジェクト復帰させた際、-h オプションを指定すると、-g オプションで指定したノードの影響グラフが正常に表示されない場合がある問題を修正しました。 • 同一ソースファイルに定義されたオーバーロード関数が、1 つの関数として表示される問題を修正しました。 • [グラフ分析対象外リスト ダイアログ]における以下の問題を修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> - リストに表示される関数名が文字化けすることがある。 - グラフ分析対象外になったスタティックメンバ変数が、クラスリストにおいて無効(グレーアウト)状態で表示されない。 • 差分モード時に、関数の引数の数や型が変化したときに、差分 ASM 表示ができない問題を修正しました。また、C 言語の関数は引数に違いがあっても名前が同じものは同じ関数とみなして比較表示するよう修正しました。 • 差分モード時における以下の問題を修正しました。 <ul style="list-style-type: none"> - 同一の関数/変数に対して、リストは変更ありでグラフは変更なし、またはその逆になる。 - 未検出関数/変数に関連付けするダイアログで、リストに同じ変数が重複して表示されることがある。
Rev.4.02 (2020/10/12)	<p>【機能追加および仕様変更】</p> <p>[オブジェクトファイル解析仕様]</p> <p>HighTec EDV-System 社の TriCore コンパイラのオブジェクトファイル解析に対応しました。 サポートするコンパイラ等については、Re:Zolver ユーザーズマニュアル for TriCore AURIX にある[TriCore オブジェクトファイルの場合]、または「オブジェクトファイル解析仕様 RRA002, RRT000: Rev.4.02, 2020/10/12」をご覧ください。</p>
Rev.4.01 (2020/09/27)	<p>【ご注意】</p> <ul style="list-style-type: none"> • Re:Zolver アプリケーション Ver.4.01 以降では、従来のアーキテクチャ対応製品と TriCore AURIX 対応製品(RRA002, RRT000)のリリースノートがあります。本書は、TriCore AURIX 対応製品のリリースノートです。 <p>【機能追加および仕様変更】</p> <p>[全体]</p> <ul style="list-style-type: none"> • Infineon 社 TriCore アーキテクチャ対応製品(Re:Zolver アプリケーション RRA002、および組み合わせて使用するアーキテクチャ対応ライセンス RRT000)を新規リリースいたしました。
	<ul style="list-style-type: none"> •